

カルテ文書にみられる用語とその説明

用語	説明
横指 <small>おうし</small>	親指 1 本ぶんの幅の長さ
過形成 <small>か けいせい</small>	過剰な細胞分裂によって起こる組織の肥大
家族歴 <small>かぞくれき</small>	患者の家族や血縁者に関する病気の履歴
加療 <small>かりょう</small>	病気やけがの治療をすること
寛解 <small>かんかい</small>	病気の症状が一時的あるいは継続的に軽減した状態。もしくは見かけ上消滅した状態
既往歴 <small>きおうれき</small>	患者の過去の病歴および健康状態に関する記録
近医 <small>きんい</small>	近隣の医療機関
血液ガス検査 <small>けつえき けんさ</small>	血液中に含まれる酸素や二酸化炭素の量、あるいは pH を測定する検査
血算 <small>けつざん</small>	血液細胞の数を数えて、その形態を観察する検査
原発巣 <small>げんぱつそう</small>	最初にがんが発生した部位のこと
現病歴 <small>げんびょうれき</small>	患者の現在の病気や症状などについて、どのような経過があったかという履歴
軸偏位 <small>じくへんい</small>	心臓を収縮させるための刺激が流れる方向を表す軸の傾き
視野 <small>しや</small>	顕微鏡などのレンズで観察することのできる範囲
主訴 <small>しゅそ</small>	患者が医療者に申し出る症状の主要なもの
主病 <small>しゅびょう</small>	患者に対する全身的な医学管理の中心となっている疾患
触知 <small>しょくち</small>	触診の際、皮膚ごしに体内の構造を感知すること
所見 <small>しょけん</small>	診察結果についての判断や意見
整 <small>せい</small>	異常がみられず、正常である
生化学 <small>せい かがく</small>	生化学検査。患者の血液・尿・便に含まれる化学物質の量を測定することで、健康状態や病気の程度を調べる検査
生活歴 <small>せいかつれき</small>	患者の現在に影響を及ぼしている出来事の履歴
生検 <small>せいけん</small>	生検法。病気の診断や予後の判定のために、生体から組織や臓器の一部を採取する方法

カルテ文書にみられる用語とその説明

用語	説明
せいめい 清明	意識などがはっきりしている様子
ぞうえいざい 造影剤	画像診断の際、画像に明暗の差を付けたり、特定の組織を強調して撮影するために患者に投与される医薬品
そうこう 奏功	目標どおりの成果があがること
ちけん 治験	医薬品もしくは医療機器の製造販売に関して、薬事法上の承認を得るために行われる臨床試験
はいや 肺野	肺の外側の面積約 50 %の領域のこと。
ひんかい 頻回	回数が多いこと。また、多くの回数。
ふおん 不穏	周囲に対する警戒心が強くなり、興奮したり暴力をふるったりしやすくなる状態
ふくびょう 副病	患者に対する全身的な医学管理の中心となっていない疾患
ぼうりゅう 膨隆	皮膚や粘膜などの局所的なふくらみ
よご 予後	手術後の患者の状態や、病気・けがの将来的な状態に関する見込み
おん ラ音	肺または気管支の疾患の際に聴診器で聴かれる、呼吸に伴う肺部の雑音
レジメン	がん治療で、投与する薬剤の種類や量、投与期間、手順などを時系列で示した計画書

最終更新日：2013年11月13日

執筆者：MedNLP2 アノテーション・チーム

お問い合わせ：mednlp.office@gmail.com